大豊町 広報

ゆとりすと

11
平成28年

議会だより 秀峰

数字にみるわがまち（平成28年9月30日現在）

（人口）合計	4,090人	（−162）
男	1,848人	（−65）
女	2,242人	（−97）
年少［15歳未満］	195人	（−4） 4.77%
老年［65歳以上］	2,292人	（−62）56.04%
世帯数	2,368世帯	（−65）

（　）は、前年同月比数

おいしいお米ができました

10月7日　おおとよ小学校5年生 稲刈り体験

議会だより　秀峰

第149号

平成28年８月臨時会
平成28年９月定例会

発行日／平成28年10月31日
責任者　議会議長　佐藤德治
編　集　議会広報編集特別委員会
事務局　大豊町高須231
電　話　0887－72－0450（代表）

第465回（平成28年８月）臨時会

８月４日開会、会期は１日間、議案第40号28第４－２号和田地区簡易給水施設整備工事請負契約について可決し閉会した。

第466回（平成28年９月）定例会

９月５日開会、９月15日までの11日間の会期、町長提出の平成28年度補正予算、決算認定、条例など７件を可決、固定資産評価委員の選任、教育委員の任命、継続審査・調査付託を決定の上、閉会した。

補正予算（賛成・全員）

会　　計	補正額	補正後の額
一　般　会　計（第２回）	２億7,410万３千円	53億8,497万５千円
国民健康保険特別会計（第１回）	1,715万６千円	８億6,852万円
介護保険特別会計（第２回）	3,397万９千円	７億6,644万９千円
一　般　会　計（第３回）	１億5,394万２千円	55億5,891万７千円

主な使いみち（歳出）

◇一般会計歳出　第２回

（総務費）地方創生費2,775万円の増額等により、4,730万５千円の増額。（民生費）国民健康保険特別会計繰出金1,181万円の増額等により、879万円の増額。（衛生費）簡易給水施設整備事業設計委託料600万円の増額等により、2,096万７千円の増額。（農林水産業費）地域づくり支援事業費補助金244万３千円の計上等により、208万５千円の増額。（土木費）町道維持修繕工事費2,000万円の増額等により、2,195万６千円の増額。（消防費）災害対応型給油所整備促進事業費補助金260万円の増額等により451万３千円の増額。（教育費）小中学校の学校備品購入費574万２千円の増額等により、1,426万７千円の増額。（災害復旧費）公共土木施設災害復旧費１億4,000万円の増額等により、１億5,500万円の増額。

◇国民健康保険特別会計　第１回

人事異動等による給与及び職員手当等の調整及び療養給付費等負担金過年度返還金等、予算執行状況による調整を行った結果、1,715万６千円の増額。

◇介護保険特別会計　第２回

人事異動等による給与及び職員手当等の調整並びに介護保険財政調整基金積立金等、予算執行状況による調整を行った結果、今回の補正額は3,397万９千円の増額。

◇一般会計歳出　第３回

（総務費）町議会議員に２人の欠員が生じ、欠員数が議員定数の６分の１を超えたため、公職選挙法第34条第１項の規定により50日以内に補欠選挙を実施する必要が生じた結果、大豊町長選挙・大豊町議会議員補欠選挙の同時選挙として計上していた679万円を減額し、大豊町長選挙費536万６千円、大豊町議会議員選挙費536万６千円をそれぞれ個別に計上。（災害復旧費）農道本山南部線における災害復旧費として、農業用施設災害復旧費１億5,000万円の増額。

契約の締結

第465回臨時会

28第４－２号
和田地区簡易給水施設整備工事請負契約（賛成・全員）

１　契約の目的　28第４－２号　和田地区簡易給水施設整備工事
２　契約の方法　指名競争入札
３　契約金額　6102万円
４　契約の相手方　高知市日の出町６番９号　株式会社中島工務店　代表取締役　増本　正人

主な条例改正等

第466回定例会

大豊町立地区集会所の設置及び管理に関する条例を廃止する条例（賛成・全員）

○起債の完済した安野々集会所を地域へ無償譲渡できるよう、条例を廃止する。

大豊町社会体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例（賛成・全員）

○大豊町東部グラウンドの用地として賃貸借契約を締結している大砂子20番地３について、平成28年10月31日をもって契約を解除する必要が生じ、大豊町東部グラウンドを大豊町社会体育施設から除く。

安野々集会所

東部グラウンド（大砂子）

行政報告

◎第465回８月臨時会

岩﨑憲郎 町長

○大豊町消防団の夏季演習板送り大会を実施

７月24日、大豊町消防団の夏季演習板送り大会を実施し、豊永分団川戸部が優勝、準優勝に豊永分団豊永部、第３位が大田口分団船戸部、第４位大杉分団杉部、第５位天坪分団北川部、第６位東部分団岩原部、第７位東部分団大久保部という結果となり、８月21日に開催される嶺北消防団連合会夏季合同演習第32回板送り大会に出場いたします。

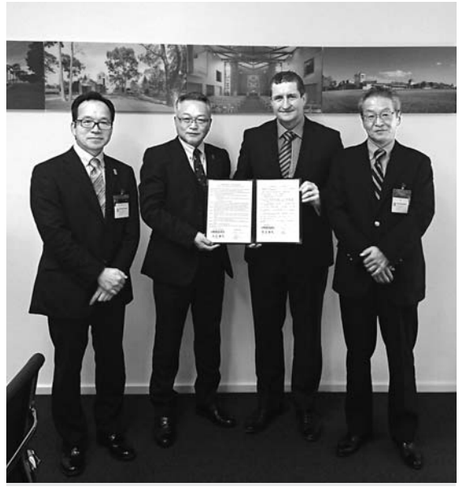
池添修一
教育長

○大豊町中学校３年生の海外研修

この研修会は平成23年から開始し、今年で６回目となります。本年度は13人の生徒が、８月16日から８月25日の10日間、オーストラリア、ビクトリア州のヘリベリー校の学校訪問と、スクールの保護者の家庭で６日間のホームステイなどを中心に研修を行います。

○大豊町教育委員会とヘリベリー校との覚書を締結

今回のヘリベリー校での研修の際、大豊町教育委員会とヘリベリー校は語学力を高める機会の提供及び協力により友好関係を深めるため覚書を締結することとなりました。覚書の主な内容は、児童生徒の交流、外国語授業（日本語・英語）における交流です。この覚書の有効期間は、調印の日から５年間とし、その後双方の合意により５年間更新が可能とするものであります。


覚え書きの締結（オーストラリア　ヘリベリー校）

◎第466回9月定例会

岩﨑憲郎町長

○8月6日未明に発生した東土居建物火災

8月6日未明に東土居におきまして火災が発生し、全焼棟数が9棟、一部消失棟数が6棟、合わせて15棟の火災でありました。原因等につきましては現在調査中であります。家屋の焼失等の被害に遭われました皆さま方に心からお見舞いを申し上げます。

○8月24日に発生した運搬車両火災

8月24日の午後2時過ぎ川又（東豊永地区）の林業作業現場におきまして火災が発生し、木材を運搬する運搬車が焼失をいたしました。被害に遭われた方に心からお見舞いを申し上げます。

大杉分団杉部

○嶺北消防団連合会夏季合同演習第32回板送り大会

8月21日に土佐町で開催され、本町の代表として出場した大杉分団杉部がB2級の部で準優勝をしました。消防団員の方々は日頃から地域住民の生活の安全のために貢献をされています。

池添修一教育長

○平成28年度全国中学校体育大会第38回全国中学校ソフトボール大会に出場

嶺北・大豊町・北陵中学校の連合ソフトボール部が、第54回四国中学校総合体育大会で3位となり、去る8月20日に福井県敦賀市きらめきスタジアムで開催された第38回全国中学校ソフトボール大会（全国16チーム）に出場し、1回戦、沖縄県嘉手納中学校と対戦しましたが、惜しくも敗退しました。本町の中学生ソフトボール部が全国中学校体育大会に出場するのは23年ぶりでありました。部員が少ない中で、連合チームでチームプレーの練習ができないというハンディがありながらよく健闘されました。

嶺北・大豊町・北陵中学校連合ソフトボール部

○大豊町中学校3年生の海外研修が無事終了

中学校3年生10人（13人中3人が全国中学校ソフトボール大会出場）が、8月16日から8月25日までの10日間、オーストラリア、ビクトリア州のヘリベリー校での授業に参加したり、同校の生徒と交流する一方、6日間のホームステイなどの研修を行いました。

今後、生徒には国際的視野に立ち、この貴重な体験を自分の将来に生かしていくことを期待しております。この研修に当たり、ご協力をいただいた保護者の皆さんをはじめ関係各位の皆さまにお礼を申し上げます。

海外研修

○大豊町ゆとりすとチャレンジ塾開講式を開催

9月6日に大豊町チャレンジ塾の開講式を行いました。このチャレンジ塾は、学校外教育サービスの一環として生徒の学習意欲を向上させるとともに、個性や才能を伸ばす機会を提供し、加えて子育て世帯の経済的負担の軽減（子育て支援）を図るために、また生徒一人一人の実体に応じたきめ細かな指導を充実（基礎学力の定着）させることを目的としております。本年度の2月まで中学3年生を対象とし9人の生徒が受講。火曜日、水曜日、日曜日の週3回で、時間は曜日によって異なりますが、夜2時間、国語、数学、英語の3教科としており、講師は土佐塾に委託しており、3月からは2年生を対象に計画をしている。生徒が希望する高校に全員が入学できることを期待しております。

大豊町ゆとりすとチャレンジ塾開講式

主な質疑

◎第465回臨時会

前野由和議員

今回の給水区域と、現時点での町内の簡易水道、簡易給水施設等の普及率は何%か。また、今後においては人口減少の中、簡易水道特別会計にとって非常に厳しい状況というのが予測されるのではないか。

小林雅文
産業建設課長

給水区域は、和田集落全域であり、給水戸数26戸、うち2戸は集会所で、実際は24世帯45人である。簡易水道の普及率は70・5%、簡易給水施設は23・9%で水道全体の普及率は、今回の和田集落を含め94・4%となる。

岩﨑憲郎町長

簡易水道の基本的な施設整備費の償還、償却という視点を除いても経営が難しいという事情は前々から抱えてきている。その状況が人口減等によってさらに厳しくなるという状況であるが、水道料自体は決して安いというわけではなく、町として地域の生活する上で大切な水を守っていくという視点での財政的な手当ては、今後とも考え検討していく。

●第466回定例会
一般会計（第2・3回）補正予算

藤丸髙徳議員

総務費の土地の購入費について説明を求める。

宮内伸彦
総務課長

庵谷地区周辺の、風力発電の建設を予定されている場所に県の土地があり、鉄塔用地及び風力発電設備の用地等、計8カ所、3379㎡を購入するため計上している。

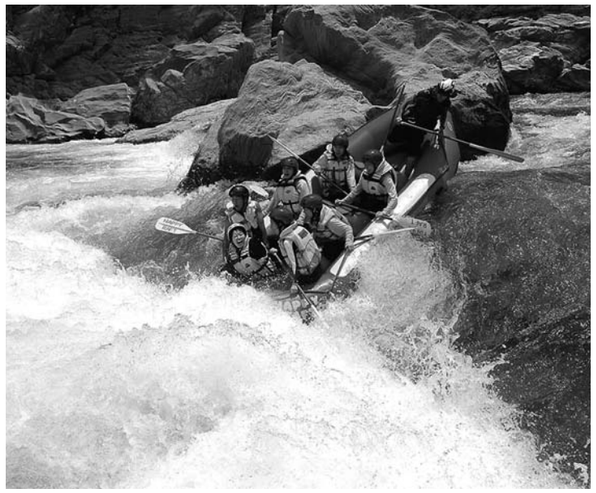
前野由和議員

地方創生費の中で、民泊推進という内容になっていると思うが、民泊というと個々の家が受け入れるのと、一定の施設で地域で受け入れることの兼ね合い、そして、例えばラフティングとのセットとか、その辺りの組み合わせとはどう考え推進しているのか。

民泊体験

三谷　淳
プロジェクト推進室長

現在民泊協議会の参加者が39戸あり、宿泊はセットになっており、ラフティングを体験しながら民泊をするということを推進をしている。


ラフティング体験

人事

固定資産評価審査委員会委員の選任
（賛成・全員）

大豊町久寿軒1497番地
吉永　礎（よしなが かたむ）

教育委員会委員の任命
（賛成・全員）

大豊町川口2050番地49
松髙　俊二（まつたか しゅんじ）

嶺北広域行政事務組合議会議員補欠選挙
（指名推薦）

大豊町八畝858番地
西村　富秋（にしむら とみあき）

当選
佐藤　德治（さとう のりはる）

一般質問

問　岩﨑町政3期を総括して問う
答　全力で取り組んできた

前野由和 議員

岩﨑町政12年間を振り返って自己採点したら何点になると思うか。住民は町の顔としての役割について高い評価をしている半面、林業への過大な投資をしていると感じている人もいる。関連企業は木材資源が枯渇したら撤退してしまうのではないかとの不安の声もある。

岩﨑憲郎町長
さまざまな形で本町を元気にし、地域のコミュニティーを次の世代に伝えていくため取り組んできた。議会、町民の皆さま方にも指導、協力を得ての町政だったと思っている。まだまだ町政については課題も多く、そうした問題に常に全力で取り組むということが今後とも必要であると考える。また、林業への過大な投資との指摘、批評を受けたこともあるが、平成22年から平成27年の町の歳出予算について、町が自由に使える一般財源の6年間の年平均36億円、その中で林業には4・6％、農業については3・3％という状況で、過大な投資とは考えていない。資源量は、町内の9割が山であり、その9割が民有林である。人工

高知おおとよ製材（株）原木ヤード

林のスギ、ヒノキの山が面積的には17000から18000ヘクタールぐらいあると思われ、そのほとんどが50年前後になっている。170ヘクタール毎年皆伐をしたとしても、100年かかる森林資源があるということであり、本町にとっては宝物の資源だと思っている。

一般質問

問　大豊町まち・ひと・しごと創生総合戦略について聞く
答　必要なサービスを届ける

前野由和議員
慣れた土地に住み続けるために必要な、医療・介護給付削減が検討されている。対応策を示すことができるのか。

岩﨑憲郎町長
住民に必要なサービスはしっかりとサポートしていくという姿勢を基本として、制度の改正等に対応していく。

前野由和議員
高速ブロードバンド環境を整えると言うが内容を聞く。

検討中のタブレット版ゆとりすと放送

岩﨑憲郎町長
光ファイバー網、Wi-Fiを組み合わせ緊急放送等については町内全戸に設置できる体制を作りたいと考えている。光ファイバー網でカバーする地域と無線等でカバーする地域とエリア分けをして町内全体をカバーする。今年度中に地域の状況の調査を行い、来年度詳細の設計等、平成30年度から整備する予定である。

一般質問

問　女性の社会進出とクオータ制を問う
答　現実の状態を見て対応する

前野由和議員
議員や幹部職員中の女性比率を高めるため特段のルールを設ける必要が検討されている。クオータ制について見解を聞く。

※クオータ（quota）とは、「割り当て、分配、分け前」の意味。もともとは政治における男女間格差を是正するための暫定的な方策で、議員・閣僚などの一定枠を割り当てる制度を指します。発祥地のノルウェーでは、一般企業に対してもこれを法制化。取締役会など経営中枢への女性進出に大きな効果を上げています。

岩﨑憲郎町長
女性の活躍の場に関する今後の取り組みについての計画は持っている。

前野由和議員
民法改正による選択的夫婦別姓（氏）が選べない状況で、世帯として届け出があった時、国保の世帯単位負担である平等割への対応を聞く。

岩﨑憲郎町長
異動届に記入した内容をもって、同一生計同一世帯と見なせる場合については、届け出のとおり世帯として見なしている。

一般質問

問　障害者施設襲撃事件について問う
答　異常な出来事だ

前野由和議員
相模原の障害者施設への襲撃事件が発生した。差別意識と安楽死させた方が社会のためになるとの独善的な使命感すら漂わせている。容疑者自身が障害を持っており、もっと入院させておくべきだったとか、開放的な施設出入りを制限する対応を取るケースも出ている。ドイツのナチス政権下で障害者を安楽死させた方が国家のためになると20万人がガス室に送られ犠牲になった。身体的に優れたものが子孫を残すことが種のためになるとの優生思想が差別と排除と安楽死を正当化したが、価値のない命など存在しない。今後、本町においても人権思想を啓蒙する社会教育の必要性が求められているのではないか。

岩﨑憲郎町長
事件については痛ましく異常な人がいること自体に驚いた。そういう思想なり考え方とか、もともと人間が持っているものではなく、そういう人を生まない社会づくりに取り組まなければいけないと思っている。

一般質問

問　組体操について問う
答　万全を期する

前野由和議員
運動会競技に組体操がブームとなり高さと低年齢化へと過熱している半面、全国の学校で年間8千件もの事故が発生している。本来、学校行事に口出しをして介入すべき

ではないが、危険に対する注意が背後に押しやられる事態に陥っているのではないか。文部科学省は各県教育委員会に検討文書を送付したと聞くが、学校と協議し、何らかの対応をしたのか。

松髙俊二教育委員長
本町では小学校が伝統となっている組体操を毎年行っており、内容は4年生5年生6年生がタワー3段、ピラミッド3段を行っている。中学校は3年前から組体操の代わりに集団行動を行っている。教育委員会としては学校側の判断に委ねており、いっそうの緊張感を持ち、周到な対策に取り組む要請と、実施にあたっては校長の責任の下で組織的な指導体制により、児童の体力などの状況を踏まえ段階的、計画的な指導を行うなどの措置を小学校校長に指示をしており、小学校校長からは、先生方がしっかりとサポートし、けがのないよう万全を期するという報告を受けている。

おおとよ小学校の組体操

一般質問

問 首長としての役割は
答 一生懸命に取り組んだ12年間であった

藤丸髙徳 議員

町長として、3期12年間、現在までの評価については住民がそれぞれ判断するものであると思うが、町長として、この12年間の中でこれだけはという自負ができるものがあるか。

岩﨑憲郎町長
住民の方々と共に歩みコミュニティーをしっかりとり、また、指導もいただきながら一生懸命の12年間だった。

藤丸髙徳議員
本町では一番大きな面積を有するのは森林である。近年、高知おおとよ製材ではたくさんの製品が加工されているが、それは森林を所有する地元、林家の方々の収益にもつながるのではないかと思われる。今後、オリンピック等を控え木材を使用するということが多く言われており、CLTの普及等、町長が先頭に立って木材使用の売り込みも必要ではないか。

岩﨑憲郎町長
CLTによる、日本最初のビル建築は本町である。木の新しい使い方を提案することによって、山の林業を元気にしようという取り組みの一環であり、今、国会議員によるCLTの普及に向けた組織もできている。丸川大臣に、知事と一緒に会い、オリンピック施設への木材の使用、CLTの使用を要請した。国においてもCLT普及に向けた動きがあり、来年度の予算、あるいは今回の補正予算にも期待をしている。

藤丸髙徳議員
本町にとって何が一番必要なのか。第一次産業に携わる人々の収入が増すような施策が必要ではないか、大豊ならではの施策等、4期目に向けての夢のあるビジョンがあれば聞く。

岩﨑憲郎町長
一次産業は地域の環境をうまく利用する魅力的な産業であり、基幹産業でもある農業をしっかりと支援する。

高知おおとよ製材社員寮（CLT建築）

一般質問

問 一人暮らしの安全・安心対策は
答 サポートしていく

藤丸髙徳議員
ゆとりすと広報誌の9月号で世帯数は2367世帯ということになっていたが、本町の一人暮らしの世帯数は、今現在何世帯なのか。

岩﨑憲郎町長
一人暮らしの世帯が960世帯ぐらいである。

藤丸髙徳議員
一人暮らしの方が生活をしていく上で、いろんな見守り隊があり、区長、民生委員等、お世話をしてくれる方々もおられるが、その中でも組織的な郵便局、農協、ガス業者、宅配業者、そういった企業等と一人暮らしの方のために、提携をしていくべきではないか。

岩﨑憲郎町長
クロネコヤマトによる、買い物支援の中で見守りサービスを実施、郵便局員からも異常があれば役場に連絡があり対応することとなっている。また、それ以外の宅配の事業をされている方からも連絡を受け、家の中で倒れて動けなくなっている方に対応した例もあるなど、いろいろな方々の協力をいただいている。町としても、協力いただけるところとは、提携をして取り組んでいく。

一般質問

問 おおとよ創生プロジェクトの取り組みは
答 効果的に推進する

藤丸髙徳議員
おおとよ創生プロジェクトの中で、人口の流動についてを聞く。近年、転入者より転出者が多くなっている。中でも20代の転出者が多く、若者が定住しにくい現状をどう考えているのか。

岩﨑憲郎町長
若い世代の転出は仕事が最大の要因だと思っている。

藤丸髙徳議員
平成25年度の統計の結果、一時期転出をされると思われる30代40代、これに応じて、10代の生徒の転出者がいると考えられる。生徒、親の負担がないような配慮が必要ではないか。県内の中山間地域にあっても同じような状態があると思うが、各高等学校等への寮の要望はできないものか。また、今現在通学者は何名なのか。

池添修一教育長
高校へ通学している生徒は、55人であり、通学先の市や町の内訳は、高知市17人、南国市31人、香美市5人、本山町2人となっている。55人のうち、4人が家族ともども高知市などへ転出しているが、理由は把握していない。本町に住所を有する51人の中で、クラブ活動をしている一部分の生徒は下宿をし、また高専などは寮に入っていると聞いているが、ほとんどの生徒は公共交通機関を手段として通学をしている。過去において教育委員会の定例会等で、高校生を対象とした学生寮の検討はしていないが、生徒の保護者の経済的負担を軽減する、いわゆる子育て支援を図るため、高校等通学助成金を交付している。内容は、基準日4月10日、10月1日現在で高校等に通学している者で、4月と10月の2回、1回につき大豊町商工会商品券2万円分を保護者に交付している。広い意味で捉えたら交付金の金額は少額であるが、学生寮に代わるものと教育委員会は捉えている。

岩﨑憲郎町長
就学支援を充実する方向で、より効果的な方法を検討していく。

一般質問

問 農家数の減少の実態は
答 真摯に受け止めている

重森一宗 議員

農林業センサス調査で農家数821戸から706戸となり115戸減少した。この減少は田畑の耕作放棄地が増えることにつながり、これらの回避に稲作を中心としたゆとりファームがその一翼を担ってきた経過もあるが、町長は環境農業プロジェクトとして、新規就農希望者の受け入れ、地域営農体制の充実、地域後継者の確保等、担い手の育成・支援に取り組むとしているが、115戸農家の減少をどのように捉えるか、また、今後の施策を聞く。

岩﨑憲郎町長
ゆとりファームを平成8年に設立、約20年取り組みを続けてきた。そうした施策以外にも農地を守ることが地域を守るという視点に立って取り組んできたが、減少したという現実がある。厳しい現実を受け止め、考え、行動していかなければならないと考えている。基本的なことは、一次産業の農業については地域の環境を生かすという視点の農業が必要だと思っている。農業が産業として成り立つように、地域政策としても機能を発揮するような形を作るため、新規就農支援、ゆとりファームでの取り組みの充実、生薬栽培の支援など、今後につなげていくことが課せられた責任だと思う。

重森一宗議員
財産の相続では少ない農地面積でも相続できるが、新規就農者等が新たに農地を確保したくても取得農地の下限面積の制限がある。県内34市町村の下限面積と大豊町は何年に下限面積を決めたのか、この2点を農業委員会会長に聞く。

小川　進
農業委員会会長

平成21年12月施行の改正農地法によって、大豊町農業委員会では平成21年12月22日開催の農業委員会において現状のまま30アールに決定している。下限面積については毎年検討することになっており、本年は8月24日に開催した農業委員会で協議した結果、引き続き、30アールとなった。主な理由は、高齢化による耕作放棄地の増加が懸念される中、やる気のある担い手や新規就農者が参入しやすい環境を整える必要があり、農業経営が効率的かつ安定的に継続して行われるためには、最低30アール程度の農地が必要であると判断したためである。なお取得するための方法としては、農地の利用権設定により自己の経営農地面積を増やせば可能である。

田園風景（八畝）

一般質問

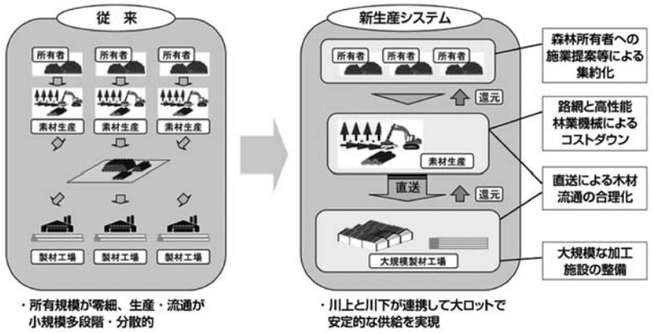
問 新生産システムの取り組みは
答 コスト低減を目指す

重森一宗議員

新生産システムでは、川上から川下への過程において中間コストの削減をすれば、生産者が苦労して育ててきた木材価格をより高くすることができ消費者も安く買え両者に利益がでる。そのように国の資料では答えが導かれている。町長は100年の森プロジェクトの中で、低コストの効率的な作業システムの整備をするとしているが、今後の施策を聞く。

岩﨑憲郎町長

新生産システムについて、一定の調査等をしてどういう状況が今の資源量から考えられるか、どういう取り組みが考えられるか検討している。この検討結果を踏まえて、町有林等を活用して、コストを低減した施業の在り方など現場において検証することも含めて、新生産システムによる林業再生を図り、山側の動きの活性化に結びつけていく。



重森一宗議員

昭和55年には1ヘクタールあたり山元へ返す金額が900万円以上あったが、平成27年度には50万円前後となっている。山元も大変であるが山林事業者の利潤も推し量れる。業者が健全な経営ができないとなれば若者を雇用することができず、それは若者が山の技術を習得して林業の担い手、自伐林業の推進とはならない。コストの削減で必要な基幹林道または作業道の計画を聞く。

岩﨑憲郎町長

森林資源の状況を把握し、森林経営計画の策定等どういう施業体制が効率的なのか検討を行っている。現時点で基幹林道の計画・構想は持っていない。急峻な峡谷型の地形を考えると、車両系の施業と架線系の施業を一つの団地の中でも組み合わせていくことは必要と理解をしている。県内の町村の平均より林内路網密度は低いのが現実であり、今後、路網の整備、機械の導入等に取り組んでいく。

一般質問

問 財産の寄付等の対応は
答 資源として生かしていく

重森一宗議員

前回の質問で、山林等を町で引き取ってくれないかというような話があり、検討している、という答えがあったが、山林、あるいは伐採後の土地の寄付もあるのか。多少なりとも買ってくれないか、というような話も当然出ているのではないか。今後の対応を聞く。

岩﨑憲郎町長

今、現実に山を寄付したいという話がある。相続の際にという例もあるが、素材生産のため山を買収し、施業した後を町に寄付したいという話もあり、今手続きを進めている例もある。寄付を受けて公有林化し、今後、持続的な林業経営を行い、資源として再造林をして生かしていくことが必要である。内容等詳細について固まっていないが、来年度の予算において公有林化に向けた基金設置など一定の取り組みを検討する。

一般質問

問 地方交付税の動向は
答 対応を検討する

重森一宗議員

国勢調査の結果において、本町の人口が4719人から3966人となり753人減少。国からの交付税は主に人口に対して配分されるが、平成27年度に比べて平成28年度交付税は急減回避策を受けて約5000万円の削減となっている。これから年々交付税が削減されることを予測して、今後の財政の見通しを聞く。

岩﨑憲郎町長

人口減少により、地方交付税が減少する。急減については、一定制度的に数年に分けて緩和をする制度は継続していくであろうと思うが、地方交付税は減少する。

平成27年度各種会計歳入歳出決算認定（認定・全員）

平成27年度の一般会計、特別会計歳入歳出決算書、付属書類等及び基金の運用状況を示す書類等が、法令に準拠して処理されているか、予算執行が適正であるかどうかについて、関係諸帳簿等の照合を行うとともに、必要に応じて関係職員の説明を求める方法により審査した結果、いずれも正確で適正に処理されているものと認めたところである。

前年度に対して平成27年度の一般会計及び特別会計決算は、一般会計、介護保険特別会計は増額決算となったが国民健康保険特別会計、簡易水道事業特別会計、後期高齢者医療特別会計については、減額決算となっている。しかし、各特別会計においては、収支の均衡が得られず一般会計からの繰入金により対応している。国民健康保険特別会計では、１人当たりの医療費は463，835円で、前年度504，657円と比べ40，822円、8.1%の減となっており、過去５年間において初めて減少の傾向になっている、今後とも健康管理推進事業等、医療費の軽減対策を継続することが重要である。

１人当たり医療費

平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度
463，835円	504，657円	432，567円	408，898円	393，593円

一般会計の歳入決算をみると、自主財源の根幹をなす町税は前年度と比べ町民税は2.3%の減、固定資産税は4.2%の増となっている。全体として前年度に比べ5，927，830円1.6%の増、収入未済額は前年に比べ現年分24.6%減、滞納繰越分27.7%減となっている。税の負担公平を原則とし収入未済額の縮減を図るため、より一層の努力を願うものである。

今後の経済情勢等の影響や景気の動向を踏まえると、本町を取り巻く歳入環境は今後とも依然として厳しく、特に歳入の根幹をなす町税収入において平成27年度は微増ではあるが年々減少傾向にあり、多くを見込むことは困難である。また、歳出面では少子高齢化の一層の進展、雇用情勢の悪化に伴う扶助費等や安全・安心のための基盤整備等への対処など、多くの課題を抱えている。

このような中にあって本町が将来に向けて持続的に発展していくためには、歳入に見合った支出に心がけ、健全で安定した行政運営を基本に、最小の経費で最大の効果を上げることに一層留意しなければならない。

財政分析等からみて総括すると、起債残高も年々減少に転じ１人当たり720，468円となっているが、町の貯金である財政調整基金は、前年比で89，154千円減少している。

町有財産の管理については、町民の共有財産であることを十分認識し、遊休財産の有効活用や処分についても検討されたい。

今後においては、地方債残高の推移等に十分留意され、引き続き歳出の効率化･重点化を図り、健全な財政運営に努められたい。また本町の要である「ゆとりすとカントリーおおとよ」の計画に基づき、町民のニーズの変化や時代の要請に的確に対応できるよう施策・事業を的確に推進し、町政のさらなる進展と町民福祉の向上増進に寄与されるよう一層のご尽力を望むものである。

決算審査報告する監査委員

議会からのお知らせ

■全国森林環境税創設促進議員連盟第23回定期総会開催

７月21日岐阜県高山市で、第23回定期総会が開催された。この議員連盟は平成６年に設立し、現在全国334市町村が加盟している。

森林は地球温暖化の防止や国土の保全、水源のかん養などの公益的機能を持っている。こうした機能は、山村地域の市町村による森林の整備・保全によって維持する必要があるが、危機的な市町村財源の状況から、恒久的・安定的な財源が大幅に不足している。

定期総会

川上の山村と川下の都市は、今こそ手を携えて、この緑豊かな美しい国土と山村を守り、国民一人一人が安心して暮らせる資源循環型社会を実現し、持続的な社会を創設するため「全国森林環境税」の導入に向けて活動を続けている。

次期総会開催地からのあいさつ

※平成29年度定期総会は、高知県で開催（大豊町議会が担当）

■四国土砂防災ネットワーク議員連盟第15回定期総会開催

８月５日愛媛県伊予市で、第16回定期総会が開催された。この議員連盟は平成13年に設立し、現在44市町村が加盟している。

国土保全は国の重要な責務であるとの認識のもと、国が直轄事業に限らず、あらゆる防災事業を積極的に展開し、責任を持って土砂災害の多発地帯である四国各地域の生命・財産を土砂災害から守り、地域発展の確固たる礎を築くため、国会及び政府に対しての要望活動や国土保全に関する調査などの活動を続けている。

※平成29年度定期総会は、高知県で開催（大豊町議会が担当）

■訃　報

都築正光 議員

本定例会の開会日前に入院されておりました都築正光議員が９月12日ご逝去されました。

故都築正光氏は、平成７年２月19日に大豊町議会議員初当選以来、通算６期21年７カ月にわたり議員活動を続けられ、その間、第32代議長をはじめ全国森林環境税創設促進議員連盟副会長、四国土砂防災ネットワーク議員連盟副会長、 高知県町村議会議長会副会長等の要職を務め、平成26年には天皇陛下から赤坂御苑で開催された秋の園遊会に招待され参列されるなど、その功績は顕著で健全な地方自治の発展、町政の進展に尽力されました。生前のご功績をたたえるとともに、安らかなご冥福をお祈り申し上げます。

議長　佐藤　徳治

委員会の動き

○林業用コンテナ苗生産視察調査

総務産業建設常任委員長　三谷幸一郎

杉コンテナ苗の生産

平成27年３月に、集落活動センター「西峯」を開所し、地域住民が主体となって西峰公民館を拠点に、集落間同士の新たな活動を通じて、担い手の確保など、これからの地域の活性化に向けて集落活動の存続を目的に、集落活動センター「西峯」の産業部会において、遊休施設となっている旧西峰小中学校のグランドで林業用の杉コンテナ苗の生産に取り組んでいる。

高知県立森林技術センターの技術指導・アドバイス、また、実際に林業用コンテナ苗の生産に数年前から取り組んでいる香美市の生産者を訪問し、栽培の現場を視察するなどし、平成27年度には、試験栽培を２千本行い技術の習得等に努めた。本年度については、５月にＡＰハウスが完成し、本格試験栽培２万本（150cc×500コンテナ　１本140円）の生産中であり、杉苗の生長35㎝～60㎝にするための育成を行っている。同時に、販路確保のため高知県種苗緑化協同組合に加入するなど積極的な事業を展開している。

この事業の成功を願うとともに、集落活動センター「西峯」の所期の目的である持続可能な集落づくりの達成については、町内他の地域においても必要であり、これからもますます「大豊町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の推進を期待する。

編集後記

地球温暖化等による異常気象の影響で、九州、北海道、東北地方においては台風による甚大な風水害が起きております。被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます。本町でも、１週間で200ミリくらいの雨が降りましたが、防災対策や地滑り対策事業の推進により、比較的に被害が少なかったと思われます。続く悪天候の中、米作農家では収穫の時期となり難儀をされていることと心配しております。

さて、広報編集特別委員会では、住民のための情報誌として、より分かりやすく見やすい編集に努めてまいりますので、議会だより「秀峰」を今後ともよろしくお願いいたします。

広報編集特別委員会　西村正尚

【ご意見やご感想は】
大豊町議会事務局
電話72―0450（代表）

後期高齢者医療被保険者の皆さまへ

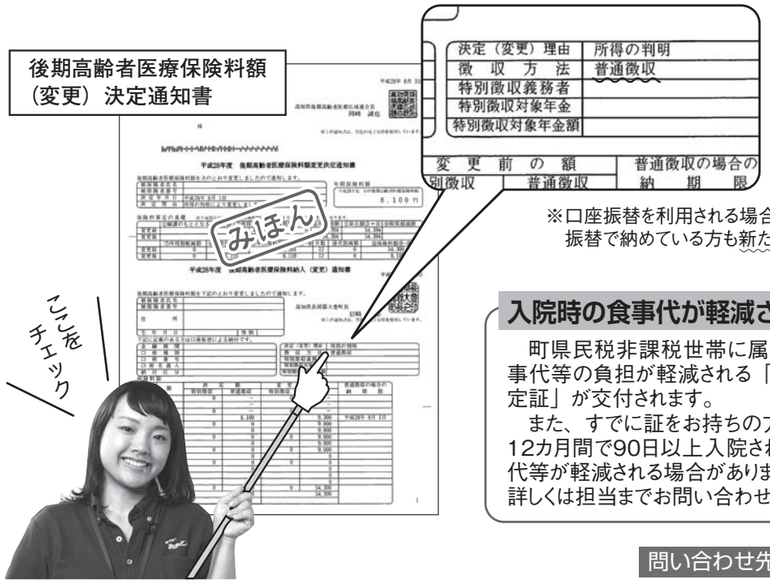
保険料の納め忘れはありませんか？

後期高齢者医療の保険料は、原則、年金からの天引きで納めていただいております。

ただし、後期高齢者医療保険に加入して間もない方や、保険料の変更があった方は、保険料を納付書で納めていただくようになります。

また、年度の途中でも、年金からの天引きであった方が、納付書払いに変更になる場合もあります。事前に通知書および納付書を送付しますので、通知書が届いたら、必ず納付方法の確認をお願いします。

また、納め忘れ防止のために、口座振替の利用をお勧めします。



●普通徴収
納付書または口座振替※による納付

●特別徴収
公的年金からの天引き

※口座振替を利用される場合は手続きが必要です。税金などを口座振替で納めている方も新たに手続きが必要ですのでご注意ください。

入院時の食事代が軽減される制度をご存じですか？

町県民税非課税世帯に属する方は、申請により入院時の食事代等の負担が軽減される「限度額適用・標準負担額減額認定証」が交付されます。

また、すでに証をお持ちの方のうち、「区分Ⅱ」の方で、直近の12カ月間で90日以上入院されている方については、さらに食事代等が軽減される場合があります。適用には条件がありますので、詳しくは担当までお問い合わせください。

問い合わせ先…住民課保険窓口班　西内

高知県後期高齢者医療広域連合事務所移転について

後期高齢者医療制度を運営する「高知県後期高齢者医療広域連合」の事務所が11月１日（火）から移転します。

新住所 … **高知市本町４丁目１－３２**
こうち勤労センター４Ｆ

なお、電話・ＦＡＸ番号の変更はありません。

農業者年金に加入しませんか？

～農業従事者なら広くご加入いただけます～

◆加入要件　次のすべてに該当する方
- 年間60日以上の農業従事者
- 国民年金第１号加入者（付加年金加入必要）
  ※ただし保険料免除者を除く
- 20歳以上60歳未満の方

◆保険料
- 月額２万円から６万７千円まで（千円単位で選択できます）

◆農業者年金のメリット
- 積み立て方式の年金
- 終身年金で80歳までの保障付き
- 支払った保険料は、全額社会保険料控除
- 政策支援、保険料に国庫補助も

詳しくは、農業委員会または独立行政法人農業者年金基金にご相談ください。

問い合わせ先…産業建設課内 大豊町農業委員会 小松
または独立行政法人農業者年金基金
☎03－3502－3199

役場からのお知らせ

電話
役場 ☎72-0450
ふれあいセンター ☎73-0811
農業センター ☎73-0978

11月30日は「年金の日」です

厚生労働省および日本年金機構は、国民一人ひとりが「ねんきんネット」などを活用しながら、老後の生活設計に思いを巡らせていただく日として、11（いい）月30（みらい）日を「年金の日」としました。

この機会に、「ねんきん定期便」や「ねんきんネット」でご自身の年金記録と年金受給見込み額を確認し、未来の生活設計について考えてみませんか？

「ねんきんネット」は、いつでもご自身の年金記録を確認できるほか、将来の年金受給見込み額について、年金記録を基にさまざまなパターンの試算をすることもできます。「ねんきんネット」については、日本年金機構のホームページか、南国年金事務所にお問い合わせください。

年金納付猶予制度の対象年齢の拡大について

平成28年7月から、30歳未満を対象とした若年者納付猶予制度の対象年齢が拡大され、50歳未満を対象とした納付猶予制度となりました。所得が少ないなど保険料の納付が困難な場合は、納付猶予制度の他にも、免除制度などもあります。詳しくは、保険窓口班または南国年金事務所にお問い合わせください。

ねんきん定期便・ねんきんネット専用ダイヤル
☎0570-058-555
☎03-6700-1144
南国年金事務所
☎088-864-1111

問い合わせ先…住民課保険窓口班　西内

戦没者等のご遺族の皆さまへ
「特別弔慰金」が支給されます

戦没者等の死亡当時のご遺族で、平成27年4月1日時点で、公務扶助料や遺族年金などを受ける方（戦没者等の妻や父母等）がいない場合に、「第10回特別弔慰金」として額面25万円の記名国債（5年償還）が平成27年度から支給されています。

【対象者】

次の順番による先順位のご遺族お一人に支給

1　弔慰金の受給権者
2　戦没者等の子
3　戦没者等の①父母　②孫　③祖父母　④兄弟姉妹

※戦没者等の死亡当時、生計関係を有していることなどの要件を満たしているかどうかにより、順番が入れ替わります。

4　1から3以外のご遺族で、戦没者等の死亡時まで引き続き1年以上の生計関係を有していた三親等内の親族

【請求窓口】住民課福祉班

【請求期限】平成30年4月2日（月）まで
（請求期限を過ぎると受給することができなくなりますので、ご注意ください。）

問い合わせ先…住民課福祉班　髙樽

高齢者虐待の防止にご協力ください

高齢者虐待とは、高齢者の心身に深い傷を負わせたり、基本的な人権の侵害や尊厳を奪うことをいいます。

高齢者虐待には次のような行為があります。

身体的虐待
叩く、つねる、殴る、蹴るなどの暴力やベッドに縛りつけるなどの身体拘束

心理的虐待
怒鳴る、ののしる、侮辱するなどの言葉の暴力

性的虐待
合意のないあらゆる形態の性的な行為

介護・世話の放棄、放任
必要な食事、入浴や排せつなどの世話をしない、必要な治療を受けさせない、衛生状態の悪い劣悪な環境で生活させる

経済的虐待
高齢者の年金や預貯金などを勝手に使ったり、財産を無断で処分する

高齢者虐待は、身近に起こりうる問題です。早期発見により未然に防止したり、重度化を防ぐことができます。

虐待を受けた場合や、虐待と思われる行為を発見した時は、地域包括支援センター班までご相談ください。

問い合わせ先…住民課地域包括支援センター班

さしのべて　あなたのその手　いちはやく 11月は児童虐待防止推進月間です

虐待かも?と思ったらすぐにお電話ください。

身体的虐待
殴る、蹴る、投げ落とす、激しくゆさぶる、やけどを負わせる、溺れさせる　など

性的虐待
子どもへの性的行為、性的行為を見せる、ポルノグラフィの被写体にする　など

ネグレクト
家に閉じ込める、食事を与えない、ひどく不潔にする、自動車の中に放置する、重い病気になっても病院に連れて行かない　など

心理的虐待
言葉による脅し、無視、きょうだい間での差別的扱い、子どもの目の前で家族に対して暴力をふるう（DV）など

虐待を受けたと思われる子どもがいたら…
ご自身が出産や子育てに悩んだら…
子育てに悩む親がいたら…
あなたの連絡・相談が子どもを守るとともに、子育てに悩む保護者を支援するための大きな一歩となります。連絡は匿名で行うことも可能です。連絡者や連絡内容に関する秘密は守られます。

児童相談所全国共通3桁ダイヤル
☎189（いちはやく）

家屋の取り壊しをしたとき

課税の基準となる1月1日(基準日)に家屋が存在していた場合は、4月からの固定資産税が課税されます。滅失していた場合は課税されません。
また、基準日前に滅失した家屋について、基準日以後に届け出をされた場合、滅失日の確認ができないため、その年の課税対象になりますのでご注意ください。

○登記されている家屋の取り壊し
法務局で滅失登記申請をしてください。法務局から税務班への通知により処理します。
年末の取り壊しなどで法務局への滅失登記が年を越してしまう場合は年内に税務班までご連絡ください。

○登記されていない家屋の取り壊し
取り壊したら税務班までご連絡ください。
※法務局からの通知および所有者からの連絡後に現地確認を行います。
※家屋調査済証の返却にご協力ください。

家屋調査済証（見本）

問い合わせ先…住民課税務班　藤原・上村

第三者行為（交通事故など）で介護サービスを受ける場合は届け出を！

平成28年4月1日から、介護保険の第1号被保険者の方が、交通事故などの第三者行為が原因で介護保険サービスを受ける場合は、届け出が必要になりました。
交通事故などにより要介護状態になった場合や、状態が悪化した場合は、介護保険班へ届け出をお願いします。

問い合わせ先…住民課介護保険班　笹岡

町内一斉清掃ボランティア募集について

大豊町社会福祉協議会では、今年も次のとおり町内一斉清掃を実施します。

【日　時】11月19日（土）午前8時から
【集合場所】旧天坪小学校・JR北川駅前・道の駅大杉・大豊橋・大豊スーパー前・豊永公民館（旧ゆとりすと交流センター）・大岩橋・東豊永公民館（旧東豊永生涯学習センター）・旧JA西峰店前
※お近くの集合場所にお越しください。
【清掃時間】1時間30分～2時間程度
ごみ袋は当日お配りします。
皆さまのご協力をよろしくお願いします。

問い合わせ先…大豊町社会福祉協議会
☎⑨73-1200

福祉サービス利用において困っていることはありませんか？

各種社会福祉施設（老人ホームや就労継続支援事業所、保育所など）やホームヘルプサービスなどの福祉サービス利用において、疑問や悩みごとなどの困りごとは、その事業者との話し合いでの解決が望まれます。
しかし、話し合いだけでは解決しなかったり、直接話すことに少し抵抗を感じたりする場合もあると思います。
そのような時には「福祉サービス困りごと解決委員会」にご相談ください。
相談の受け付けは、年末年始を除く平日の午前9時から午後4時までです。
相談は無料で、秘密は厳守します。

問い合わせ先…高知県運営適正化委員会
（福祉サービス困りごと解決委員会）
高知県立ふくし交流プラザ4階
☎088-802-2611
FAX 088-844-3852
（FAXは24時間受け付け）

森林環境税に関するシンポジウムに参加しませんか？

高知県では、県民を挙げて森林環境の保全に取り組むことを目的に、平成15年度に全国で初めて森林環境税を導入し、森林環境の保全をはじめ、県民参加による森づくり活動や、森林環境教育、シカ被害対策、公共的空間での木材利用などに活用しています。
森林環境税は、平成29年度末をもって第三期目の課税期間が終了するため、県では、この森林環境税の今後のあり方について、県内6地域で「地域座談会」を開催し、皆さまからの貴重なご意見をいただきました。
今回、その貴重なご意見をご紹介するとともに、今後の森林環境税のあり方や使途について参加者全員による意見集約を行うため、「2016KOCHI森の県民シンポジウム～森林環境税どうするが？～」を次の日程で開催します。

【日　時】11月26日(土)　午後1時30分～4時30分
【場　所】高知県立高知追手前高校　芸術ホール
※駐車場がありませんので公共交通機関などをご利用ください。
【内　容】
「基調講演」ロギール・アウテンボーガルト氏
「山ほど語るディスカッション」
コーディネーター
塩田正興氏（木と人・出会い館　館長）
パネリスト
中川睦雄氏（こうち森林救援隊　事務局長）
植村和暢氏（工房刻屋　木工職人）
堂本真実子氏（若草幼稚園　園長）
熊谷猛男氏（㈱熊谷ファーム　代表）
【参加料】無料
予約の必要はありませんので、直接会場にお越しください。

問い合わせ先…高知県林業振興・環境部
林業環境政策課　☎088-821-4586

高知県の最低賃金が改正されました

高知労働局では、県内すべての労働者に適用される「高知県最低賃金」を改正し、10月16日から施行することとしました。
この決定により、10月16日以降分として労働者に支払う賃金は、1時間715円以上としなければなりません。

問い合わせ先…
高知労働局　賃金室　☎088-885-6024
高知労働基準監督署　☎088-885-6031

税に関する作品の展示について

南国税務署では、管内の小・中学生が書いた税に関する作文・習字・図画など約130点を展示します。ぜひ、ご覧ください。

【日　時】11月11日(金)～17日(木)
【会　場】サニーアクシス南国店

問い合わせ先…南国税務署　総務課
☎088-863-3252

職場のトラブルで悩んでいませんか？

人事労務管理の個別化や雇用形態の変化などに伴い、労働者と事業主との間で労働関係についての紛争が増加しています。高知労働局では、こうした個別労働紛争に対する援助サービスを無料で行い、解決に向けたお手伝いをしています。職場のトラブルでお困りの方は「総合労働相談コーナー」をご活用ください。

問い合わせ先…
高知労働局総合労働相談コーナー
☎088-885-6027
高知総合労働相談コーナー(高知労働基準監督署内)
☎088-885-6010

《無料》高齢者・障害者のための成年後見相談会

成年後見制度は、認知症や知的障害・精神障害などにより判断能力が不十分な方が、財産侵害を受けたり、人間としての尊厳が損なわれたりすることがないように、法律面や生活面で保護・支援する身近なしくみです。

【日　時】11月27日(日)　午前10時～午後3時
【場　所】高知県司法書士会会館仮事務所
（高知市越前町1丁目6番32号）
【相談料】無料
【相談方法】面接による相談（要予約）
電話による相談（当日のみ）
☎088-875-1120
【相談例】
・一人暮らしの今後が不安だ
・遺産分割協議をしたいけれど、相続人の1人が認知症でできない
・知的障害を持つ子どもの将来が心配
・母の年金が勝手に使われているみたいだ　など

予約・問い合わせ先…公益社団法人成年後見センター
リーガルサポート高知
☎088-825-3141

まちのできごと

食生活改善推進委員が表彰を受けました

5月25日、ふくし交流プラザで、第39回高知県食生活改善推進協議会総会が開催されました。その中で、「全国食生活改善推進協議会名誉会員表彰」が行われ、西久保の今井亀久代さんが表彰されました。

この表彰は、食生活改善推進協議会に５年以上在籍し、平成28年３月31日現在満90歳以上の方に贈られるものです。

今井さんは平成16年から食生活改善推進員として活動され、おおいに活躍されています。

ご長寿をお祝い

9月16日、町長が満年齢99歳以上（9月15日現在）の方を訪問し、ご長寿を祝い記念品を贈りました。

今年度の対象者は12人で、男性の最高齢は103歳、女性の最高齢は105歳の方でした。また、今年度はご兄妹で自宅で元気に過ごされている川井の門田豊秋さんと重尾さんを町から表彰しました。

皆さんがとても素敵な笑顔で町長とお話しされている姿が印象的でした。

いつまでもお元気でお過ごしください。

第１回健康ウォーキングを開催しました

10月１日、第１回健康ウォーキング教室が開催され、参加者26人が、総合ふれあいセンターから上東踏切までの往復３．８㎞のコースを約１時間で全員完歩しました。雨続きの日にもかかわらず、当日は朝からお天気に恵まれ、39歳から86歳までの皆さんが、自分のペースで気持ちよく歩くことができました。

健康運動指導士の前田郁先生からは、ストレッチと歩くときの２つのポイント、「肩甲骨を意識して腕を振る」「おなかをひっこめる」ということと、帰ってきてからのストレッチが大事だということを教わりました。

最初は歩けるか心配していた方や、早いペースで歩いた方など、みんなが気持ちよく、心地よい汗をかいていました。

オサバイ米を収穫しました

10月９日、穴内あけぼの会主催の体験イベント、「棚田で稲刈り＆イモ掘り」が開催され、町内外から20人が参加しました。

この日は朝から少し肌寒く、雨がぱらつくあいにくの天気でした。午前中は雨がやむのを待ち、畑に移動してイモ掘り体験を行いました。大人も子どもも土の中から次々と現れる大きなサツマイモに大喜びでした。

昼食に地元のお母さんたちの作ったおいしい田舎ごはんをいただいた後、午後からは稲刈り体験を行いました。

参加した皆さんは「来年もまた来るね」と言って、大満足で帰路に就いていました。

まちのできごと

頑張っています！大豊町体育会柔道部・大豊町中学校柔道部

10月９日に大豊町中学校体育館で、第34回高知県少年柔道大豊大会が開催され、大豊町からは、保育園児から中学生までの部員が出場し、それぞれの部で熱い戦いを繰り広げました。

また、7月23日、24日に県立武道館で開催された高知県中学校総合体育大会柔道の部では、団体戦、個人戦ともに好成績を収め、四国大会に出場しました。

大会結果

＝高知県少年柔道大豊大会＝

【幼児の部】
　第３位　吉川　智悠くん

【小学６年女子の部】
　第３位　秋山　愛音さん

【中学生女子無差別級】
　準優勝　吉川日奈子さん

【中学生女子団体】
　優　勝　大豊町中学校・越知町少年柔道部連合

【中学生男子団体】
　第３位　大豊町中学校･大豊町体育会柔道部連合

＝高知県中学校総合体育大会柔道の部＝

【個人女子48kg級】準優勝　吉川日奈子さん（四国大会出場）
【個人女子52kg級】準優勝　山中穂乃香さん（四国大会出場）
【団体女子】
　第３位（吉川日奈子さん・山中穂乃香さん）

おおとよ小学校体験授業　稲刈り（５年生）・間伐（４年生）

10月７日、杉の前田光盛さんの田んぼで、おおとよ小学校５年生７人が稲刈りを行いました。

この稲は、５月12日に生徒が田植えをし、７月に草取りをしたもので、自分たちが植えた黄金に輝く稲穂の前で鎌の使い方を習い、一斉に稲刈りをしました。

最初は扱いにくかった鎌も、稲が少なくなるごとに要領を得、上手に刈り取っていました。

小学生は、刈り取った稲を最初はひもで縛っていましたが、大人がやっているのを見て「僕もわらで縛りたい」と、縛り方を教わり、「僕もわらでできたでー」とうれしそうに見せてくれました。

脱穀後のわらは、来年、大杉さんのしめ縄に使われます。

10月11日、県立甫喜ケ峰森林公園で、おおとよ小学校４年生14人が恒例の間伐体験を行いました。

森林公園の和田さんに、健全な森林についてや、間伐の必要性についてお話を聞いた後、山に入り、順番にのこぎりを使い木を切りました。なかなか思ったようにのこぎりが動かず、みんなで「もっとこっち！」など確認しながら協力していました。

「受け口」を切り取る時には、「もう切れたろう！もう切れたろう！」と言いながらのこぎりを動かし、切り取れた時には「やったー！」とみんなの元気な声が山に響いていました。

ヘルスメイトのおしゃべりコーナー

ヘルスメイトは町の食生活改善推進教室（年４回）や研修会に参加して、最新の健康情報を勉強し、地域の皆さんにお伝えできるように努力しています。その一つとして、９月13日に、高知県ものづくり名人派遣事業を活用して研修会を開催しました。

講師は「土佐の匠」に認定された日本調理技能士の方や、土佐の郷土料理を継承しているプロの方で、ホテルなどで日本料理の総料理長として活躍されている３人の方々でした。研修会では、まず日本料理の基本について説明を聞きながら、実際においしいだし汁の取り方や鱧（はも）の骨切り、鯵（あじ）の冷やし汁などの調理を見学した後で実習を行い、試食をしました。

献立によってだし汁の種類を変えることの大切さや、旬の食材を上手に使うこと、また、切り方一つで盛り付けの美しさが変わってしまうことなど、ひと手間を惜しまないことが、減塩でもおいしい味になることや料理の仕上がりに大きく影響することを学び、今後の活動に生かせる有意義な研修会となりました。

問い合わせ先 …大豊町食生活改善推進協議会（住民課健康づくり班内）

交通安全ニュース

高知東警察署本山警察庁舎
高齢者交通安全アドバイザー　上池
☎（0887）76－0110

当たり前のこと（基本）を当たり前にする

「車に乗ったらシートベルトをする」「お酒を飲んだら運転しない」など当たり前のことが交通事故を防ぐ近道です。

県内の交通事故

発生　1,581件
死者　36人
うち高齢者　22人（61%）
平成28年10月2日現在

道交法違反が多い

交通事故の原因を見ると、その多くは「交通ルール」を守っていなかったことによります。

「これくらい…」と思ってした行為が、重大事故を招くことも。

「安全確認」、「一時停止」など『見たつもり・したつもり』にならないよう、基本を当たり前に行い、事故に遭わない、起こさないように心がけましょう。

１万人訪問

９月27日（火）、秋の全国交通安全運動の一環として、穴内、磯谷地区を訪問しました。

毎年この時期に、高知県内の65歳以上の方、１万人を訪ねて交通安全の呼びかけを実施するもので、交通安全トイレットペーパーを配布しています。

ご協力ありがとうございました。

教育委員会だより

大豊町中学校　体育祭　雨にも負けず

一意奮闘

９月に入ってからというもの、雨・雨・雨…。

大豊町中学校の体育祭は、雨の中ではありましたが、生徒の若さあふれる躍動で、雨を吹き飛ばす盛り上がりでした。

これぞ、**「チーム大豊町中」**。

保小合同運動会　快晴に恵まれ

雨で思うように外での練習ができず、また、台風の心配もありましたが、当日は、まさかの快晴。今までのうっぷんを晴らすかのような子どもたちの笑顔・真剣な表情で、さらにヒートアップ。

保育園児の元気でかわいい「はじめのことば」で始まりました。

おおとよっこ　オリンピックより熱くなれ

Never give up　心を一つにがんばろう

保護者・地域の方々もたくさん参加して、「運動の秋」を満喫しました。

ゆとりすと　カレンダー11月・12月

11月　霜　月　November

1	火	
2	水	ふれあいデイ（ふれあいセンター）10：30〜14：30
3	木	文化の日　　大豊町民文化祭
4	金	
5	土	
6	日	大豊町中学校文化祭・大豊町民俗芸能大会（大豊町中学校）9：00〜 大豊町議会議員補欠選挙 ジビエグルメフェスタ
7	月	立冬
8	火	
9	水	立川無医地区診療 行政相談（ふれあいセンター）10：00〜12：00
10	木	
11	金	よちよち〜ベビーマッサージ〜（ふれあいセンター）10：00〜12：00
12	土	健康ウォーキング
13	日	
14	月	
15	火	
16	水	ふれあいデイ（ふれあいセンター）10：30〜14：30
17	木	いくちゃんのはつらつ健康運動教室（農工センター）18：30〜 防災アドバイザー講演（おおとよ小学校）
18	金	
19	土	町内一斉清掃
20	日	
21	月	
22	火	久寿軒無医地区診療　　西峰無医地区診療　　小雪
23	水	勤労感謝の日 大杉どぶろくまつり（大杉農村広場） 健康ウォーキング〜ポールウォーキング〜（ふれあいセンター）8：30〜
24	木	
25	金	
26	土	
27	日	大豊町長選挙
28	月	
29	火	
30	水	固定資産税（第３期）・国民健康保険税（第５期）・後期高齢者医療保険料（第５期）納付期限

12月　師　走　December

1	木	
2	金	
3	土	
4	日	おおとよ小学校「おおとよ家」体験学習（ひろめ市場）
5	月	
6	火	
7	水	ふれあいデイ（ふれあいセンター）10：30〜14：30 行政相談（農工センター）10：00〜12：00 人権相談（農工センター）10：00〜15：00　　大雪

11月１日は高知県教育の日「志（こころざし）・とさ学びの日」です
（11月１日から７日まで「とさ学びの週間」）
http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/310101/manabinohi.html

募集　イベント情報

JMRC全国オールスターラリーフェスティバル開催

「第11回ＪＭＲＣ全国オールスターラリーフェスティバルｉｎ四国高知大豊町」がゆとりすとパークをメイン会場に、中村大王の町道梶ケ森スカイライン線の一部と西峰の林道西峰線の一部を舞台に開催されます。

このラリーフェスティバルは本町で初めて開催するイベントで、上記２つの公道をコース設定し、タイムトライアルで順位を決定する公道最速を競うモータースポーツです。当日は、ラリーカーと呼ばれるスポーツカーが全国各地からメイン会場のゆとりすとパークに大集結します。興味のある方はぜひ会場にお越しください。

なお、タイムトライアルの観戦はゆとりすとパーク会場のみとなっており、通行制限がありますのでご注意ください。

日　時　11月19日(土)レッキ(コース試走)
11月20日(日)タイムトライアル(タイム計測)
場　所　メイン会場：ゆとりすとパーク
コース①：町道梶ケ森スカイライン線
コース②：林道西峰線
問い合わせ先　大会事務局　ラリークラブつるぎ
☎0883－77－4172
または、プロジェクト推進室　久保

≪無料≫法律相談

日　時　12月14日（水）　10：00〜12：00
場　所　大豊町総合ふれあいセンター
申し込み方法　法律相談（予約制）を希望される方は、大豊町社会福祉協議会　☎⑨73－1200まで
（申し込み多数の場合は先着順）

自衛隊高等工科学校生徒募集

【推薦】
資　　格　男子で中卒（見込み含む）17歳未満の、成績優秀かつ生徒会活動などに顕著な実績を納め、学校長が推薦できる者
受付期間　11月１日〜12月２日
試験期日　平成29年１月７日〜９日のうち１日
【一般】
資　　格　男子で中卒（見込み含む）17歳未満の者
受付期間　11月１日〜平成29年１月６日
試験期日　１次　平成29年１月21日
２次　平成29年２月２日〜５日
問い合わせ先
自衛隊高知地方協力本部高知募集案内所
☎088－823－2006

美術展覧会開催

第７回四国三郎吉野川源流・利水域交流美術展覧会が開催されます。皆さんぜひお越しください！

日　時　11月11日（金）〜14日（月）　9：00〜18：00
場　所　大豊町農工センター
問い合わせ先　大豊町教育委員会　山崎　☎72－0450

特選「自慢の牛」横山　豊

〜審査結果〜

「絵画」	入選	竹内	敬訓・永森八重子
「彫塑」	入選	三谷	敏子・小笠原須賀子
「書道」	入選	笹岡	修一・猪野　可奈
「写真」	特選	横山	豊
	入選	山中	静惠・横山　豊
		岡﨑	徹・小笠原須賀子

（順不同・敬称略）

自賠責保険・自賠責共済のご案内

知らなかったでは済まされない！
まさかのための「自賠責」

自賠責保険･自賠責共済は、万一の自動車事故の際の基本的な対人賠償を目的として、自動車損害賠償保障法に基づき、原動機付自転車を含むすべての自動車に加入が義務付けられており、自賠責保険･自賠責共済なしで運行することは法令違反ですのでご注意ください！

安らかに
ご冥福をお祈りします　敬称略

氏　名　　死亡日　　性　享年（満年齢）　住　所

※個人情報保護法により割愛いたします

ゆとりすと の 議会だより 秀峰

2016年 11月号
ゆとりすと 通巻259号
秀峰 通巻149号
【平成28年10月31日発行】

ゆとりすと
発行：大豊町
編集：総務課庶務班
〒789−0392 高知県長岡郡大豊町高須231番地
電話 0887−72−0450 FAX 0887−72−0474
大豊町ホームページ（http://www.town.otoyo.kochi.jp/）

秀峰
発行：大豊町議会
編集：議会広報編集特別委員会
責任者：佐藤徳治

PRINTED WITH SOY INK 再生紙を使用しています